

STUDENT EXCHANGE NEWS



近江兄弟社中学・高等学校 国際交流委員会・留学生センターニュース

ISSUED BY THE INTERNATIONAL EXCHANGE COMMITTEE, OMI BROTHERHOOD SR. & JR. HIGH SCHOOLS

ただ今留学中

(留学中のレポート特集)

現在、9名の高校生が、アメリカ、タイ、オーストラリア、ニュージーランドの姉妹校に留学中です。期間は、6週間から1年間とさまざまですが、始めの1、2週間の思いは共通のものがあるようです。6名の生徒からのレポートを紹介します。

充実した2週間

I11 山本 結友

姉妹校交換留学

Roong Aroon School (タイ)

2017/7/15 ~ 8/26



タイに着いて2週間が経ちました。ホームシックになると思っていましたが、ホームシックになることはなく、毎日が楽しいです。タイの学校は他の学校に比べてとても大きいです。そして放課後には部活ではなく、バレーボールやバドミントンなどのスポーツをしていました。

タイの学校の授業は日本の勉強の仕方とは違って、あまり鉛筆を使わずグループでの話し合いを中心とした授業をします。例えば日本語の授業では、ある動詞が書いてあるカードを使って日本語を教え、次にタイ語で自分に教えてもらいます。他にも伝言ゲームでことわざを覚えたり、ジェスチャーで言葉を伝え何を言いたいのかを当てるゲームをしたりします。

また、陶芸やタイ踊りなどの楽しい授業もしました。陶芸の授業では初めて茶碗を作りました。1回目の授業は茶碗の形にならず、とても苦戦しましたが、2回目の授業で少しずつ慣れてきて最初よりは上手くなったと思います。動きがとても細くて少しでも間違えるとすぐ壊れてしまうの

で、本当に難しかったです。タイ踊りの授業では実際にタイ伝統の服を着て踊りました。しかし、盆踊りよりも踊りが複雑なので、上手に踊れませんでした。

休日にはホストファミリーとお寺に行ったり買い物をしたりしています。また、ホストファミリーの家の周辺には店がたくさんあるので散歩したり、家でホストファミリーとお話をしたりしています。

最近では一緒にそうめんを作りました。作り方はとても簡単なので、すぐにできました。食べてもらおうと「美味しい、また食べたい」と言ってくれて、とても嬉しかったです。

とても充実した2週間で過ごすことができました。

周りの人達がタイ語で話し、タイ語の授業もあるので少しずつタイ語を覚えています。買い物をしたとき、お金をいくら出せばいいのかわからなかったときがあったのでしっかり勉強して次は分かるようにしたいです。英語もタイ語も上手に話せたらなど、いつも思います。

これからの4週間でもっとたくさんの人と会話ができるようにしていきたいです。

(2017/7/28 受信)

毎日が驚きの連続

I21 倉田麻理菜

姉妹校交換留学

Roong Aroon School (タイ)

2017/7/15 ~ 8/26

私の今回の留学の目的はタイと日本の違いやタイの習慣などを知ることです。

タイに来てからは、毎日が驚きの連続です。都会でも植物がたくさんあり、色んな花が咲いていたり、『千と千尋』に出て来そうな古いバスがあると隣にきれいな二階建てのバスが走っていたり。昔の古いものから今の新しいものまで見ることができるのでとても面白いと感じまし

た。

マーケットではお店の人々がとてもフレンドリーでホストシスターと談笑しているのを見て、流石「微笑みの国」だなあと思いました。

学校で初めてクラスに入ったときクラスメイトが「おはよう！初めまして！」と挨拶をしてくれ、日本語で自己紹介までしてくれました。Roong Aroon School には日本語を習う日本語クラスがあ



りますが、日本語クラスでない生徒も日本語を話せていてとてもびっくりしました。面白い日本語を言って毎日笑わせてくれる友達や、日本語を友達に聞いて頑張って日本語で挨拶をしてくれる生徒もたくさんいます。「私は日本がとても好きです」と言って日本について知っていることをたくさん教えてくれる生徒もいました。

日本人はタイ語で「イーブン」と言うのですが、校内を歩いていると、小学生から高校生までたくさんの生徒が「イーブンイーブン」と言って近づいて来てくれます。自分の母国を好いてもらえるのがこんなにも嬉しいものなのだなと強く思いました。

放課後にはクラスメイトとバレーボールやバドミントンをして遊びます。とても充実した学校生活を送ることができています。来月にはパーティーがあります。そのパーティーで日本語クラスの生徒のみんなと星野源の「恋」を歌いながら恋ダンスを踊る計画をし、授業の時間に練習を一生懸命取り組んでいます。

日本語クラスでは、団子を作ったり、日本のことわざについてゲームをしたり、日本人の自分たちが教えられることがたくさんあります。

私たち日本人は日本語を教え、タイの生徒にはタイ語を教えようという語学が溢れている生活を送っていてとても幸せです。(2017/7/30 受信)

数々の文化の違い

111 北川 星羅
姉妹校留学

Citipointe Christian College (オーストラリア)
2017/7/15 ~ 2018/6/30 頃

オーストラリアに来て1週間経ちました。飛行機の乗り継ぎも問題なく、無事にブリスベンに着

くことができました。

よく外国の家では靴を履いて過ごすと聞いていましたが、私のホームステイ先も靴を履いて生活しています。最初は、とても抵抗がありましたが、もう慣れてきました。私は夜にシャワーを浴びますが、ホストマザーやホストブラザーは朝に浴びます。こちらに来て早々文化の違いを感じました。

学校ではランチだけでなくモーニングティーの時間があります。また購買もピザやガーリックトースト、ハンバーガーなど、種類が豊富です。また中国人が多く、よく中国語を耳にします。私も中国人の女の子と一緒にホームステイをしていて、彼女はとても優しい人で、ブリスベンに着いた日はお寿司を買ってくれました。



ショッピングモールの中には必ずといっていいほどお寿司のお店があります。天ぷら巻きなど日本にないようなお寿司もありますが、日本のお寿司が一番美味

しいなと思いました。休みの日のお昼ご飯にモスバーガーをたべました。ハンバーガーとポテトとアイスティーのセットで10ドルと、日本よりも高くびっくりしました。アイスティーもとても甘く量も多くてさすが海外だなと感じました。

ホストファミリーはいつも学校が終わると今日はどんな日だった？と聞いてくれます。日本ではこんなことはありませんが、オーストラリアでは当たり前のように聞いてきます。また、先生も楽しい？などと聞いてきてくれて優しいなと思いました。

学校では、週に一度礼拝があります。日本では落ち着いた雰囲気の中でやることが多いですが、こちらでは電子ギターやドラムなどを使ってとても明るい礼拝です。みんなで歌を歌ったり日本とは全然違うやり方でとてもびっくりしました。

中国人の留学生はとても英語が上手なので私も負けずに頑張っていきます。自分から話しかけると相手は必ず応えてくれるので遠慮せずに話しかけていきたいです。(2017/07/26 受信)

身をもって分かったこと

111 加藤 大吉
姉妹校留学

Citipointe Christian College (オーストラリア)
2017/7/15 ~ 2018/6/30 頃

オーストラリアに来て始めにしなければならなかったのは、ホストの家に着いてから Wi-Fi モデムを買うことと銀行のアカウントを作ることでした。初日にショッピングに連れていってもらいまし

たが、どちらも日曜日は店が閉まるのが早いのでできませんでした。

学校に行き始めて、2 日目に行われたのがクラスを決めるためのテストで、Writing と先生と一対一の Speaking テストでした。クラスは 3 クラスでレベル分けされていて、今は真ん中のクラスで勉強しています。毎日宿題が多いですが、聞いていたほどはハードではありません。

ホストファミリーとは、とても仲良くしていて、毎日よく日本ことやオーストラリアのこと、学校のことを話しています。

学校の休み時間は、玲音君と一緒にいる時間がやはり多いですが、中国人の友達も数人できました。最近では中国人の友達や先生と話す時間が増えました。また、週に一回の体育の時間は、バスケットボールを選びました。そこでは日本人一人だけでしたから、中国人の友達と英語でずっと話すことができ、仲良くなれました。ですから、無理やりでも、日本人一人だけになれる環境を一つ作れて良かったと思います。日本人といると、どうしても分からない単語があると日本語で話してしまっ、その続きの話も日本語になることが多いので、注意しないとイケないと思います。



International College の建物

国との違いについて気づくことが多くあります。オーストラリアは大きいので、学校も日本とは比べられないほど広いし、学校の一部として、カフェがあります。よく日本でも聞く、日本人は堅くて静かでリズム感が無い人が多いというのは学校を見ていたらわかると思います。なぜならキリスト教を信仰している人が多い国なので、礼拝が頻繁にあります、その礼拝も日本でしている礼拝とはまったく違います。先生と生徒数人が壇上に上がって、生徒の照明係がいて、歌を歌ったあとに神様へのメッセージを読んでお祈りをします。そして最後に、お菓子を貰って帰るといった形が多く、みんな自由に楽しんでいくというのが、最初に思ったことです。また休み時間は、色んなところで、音楽がかかっているし、大きな声で歌っている人がいます。それでも、だれもそれを見て笑ったり冷やかしたりしません。そのように、相手を尊重するという姿勢は本当に見習うべきだし、大切だと思いました。

先週、学校の全員が集まっていくつかの部活や個人が、見せ物をするイベントがありました。そこでも、終わった後に、見せ物をした人の友達や知らない人まで、「凄かったな」などと賞賛の言葉を言いに行ったのが、印象的でした。

インターナショナルカレッジの人数の割合は中国人が圧倒的に多いです。正直に言って、今まで

の中国人のイメージが変わりました。最初から良い人もたくさんいるとは思っていません。日本では中国の悪いところしかニュースでとりあげていなくて、中国に対して否定的な気持ちになっていました。

しかし、実際に多くの中国人と話したり遊んだりしていると、本当に良い人が多いということがわかりました。というか、他の国の人も何人も変わりません。国の教育で、どの国の人も国によって少しの特徴は持っていますが、どの国にも色んな人がいるということをもみんなに理解してほしいと思います。

オーストラリアに来てから約 2 週間が経ち、学校に通っていて勉強面で思ったことはボキャブラリーがとても大切だということです。日常の会話は、ホストは普通よりもゆっくり話してくれたこともあって最初から聞き取れましたが、知らない単語が多いと、ほぼ意味の分からない文になってまうので、ボキャブラリーはとても大切だと思いました。ですから ICC でいつも行なっている 500 動詞のテストはとても大切で、絶対に役に立つということが身をもってわかりました。(2017/7/29 受信)

とても長い一週間

H22 米澤 玲音

姉妹校留学

Citipointe Christian College (オーストラリア)

2017/7/15 ~ 9/30



7 月 15 日午後 9 時頃発の飛行機に乗り離陸し、7 月 16 日午前 10 時頃無事にプリンペン国際空港に到着しました。到着ゲートで Mrs.Jakins と合流し、車で大吉くん、星羅さん、私の順でホストファミリーの家まで送ってもらい、僕は日曜の礼拝を終えたホストファミリーに合流するため学校の Church まで送ってもらいました。

そこでホストファミリーと合流し、車で約 20 分かけて家へ行きました。帰り道にファストフードを買い、家に帰ってからみんなで食べました。それが初めの食事でした。その後、ホストファミリーとたくさん喋ったり一緒にホームステイする

ことになっていた Steve と一緒にゲームをして過ごしました。夕食後、ホストファミリーと一緒に写真を撮りました。

次の日、ホストマザーが車で学校まで送ってくれました。学校では中国人がとても多く、Citipointe International には 40 人くらいいます。学校では英語よりも中国語を聞くことの方が多いなあというのが、第一印象です。

学校には、とても大きな church あり、ここでは先生や生徒たちがステージで演奏したりしているのを聞いたり、聖歌を歌ったりしました。

午後からはテストを受け、そのテストの結果でクラスを 3 段階に分けられ、一番下からのスタートでした。その後の 2 日ほどは学校の説明や授業の説明を受けていました。木曜日から少しずつ授業が始まり、英語についてのたくさんのことや数学を学び始めました。そのようにして、一週間が終わり、とても長い一週間だと感じました。

土曜日、ホストファミリーに朝からショッピングモール連れていってもらい、iPad のケースと画面保護フィルムを買いました。その夜、ホストファミリーの友達の家に行ってバーベキューに参加しました。日曜日、朝から学校の church へ行きました。ホストペアレンツが大きい礼拝に参加しているあいだ、僕と Steve は小さい方の church のクラブの様な礼拝に参加しました。その日のランチは、昨日とは違うところでのバーベキューでした。

毎日、良いホストファミリーと学校の友達に囲まれ、何もかも新鮮な中で楽しい時間を過ごすことができている。宿題は、本当に 3 時間近くの量が出され、毎日大変ですが、自分の英語力向上のためなら全然苦ではないと思うようになってきました！

このままのいい状態を維持して 3 ヶ月しっかりと英語とともに過ごしていこうと思います。僕は大吉さんと星羅さんのように 1 年ではなく、3 ヶ月という短い期間なので、2 人の何倍も努力して英語力の向上を目指したいと思います。学校で日本人といるときであってもできるだけ英語で話す努力をしてみたり、たくさんのことを試して行きたいと思います。

このような貴重な体験をさせてくださっている兄弟社の制度と先生方、そして何よりも高い費用を払って留学に來させてくれた親に心から感謝し、精一杯色んなことを吸収して日本に帰りたいと思います。

日本に帰ったら、自分の体験をより多くの人に話し、少しでも留学に興味を持ってくれる人が増えればいいなと思います。そういった話す機会もたくさんあると思うので今から想像するとワクワクします。(2017/7/26 受信)



野生のアザラシの親子

I11 東川 有絢

姉妹校留学

Bethlehem College (ニュージーランド)

2017/7/15 ~ 10/6



ニュージーランドに来て、2 週間が経ちました。まだたった 2 週間ですが、この短い間に、私はたくさんのことを学ぶことができました。ニュージーランドの道路は、日本と違ってとても広く、

街並みも綺麗です。山はあまり無いのですが、急な坂が多く、坂の一番上にいると、下が全く見えないときもあります。牧場が至るところにあるのですが、それもこういう地形のおかげだろうと思いました。ニュージーランドは羊が多いとよく聞きますが、この 2 週間では、牛の方をよく見ました。他にも馬やうさぎ、見たことのない鳥もたくさんいて、自然が豊かで空気もとても綺麗です。

ニュージーランドに来て 3 日ほど経った頃、ビーチに連れていってもらいました。ビーチの近くは高級住宅街のようで、とても大きくて美しい住宅がたくさんあります。その日はよく晴れていたの、すごく綺麗な海を見ることができました。ビーチの近くにはマウンガヌイという山があります。標高 200m 程度なのですが、辺りに他の山が何もないので、とても大きく見えます。日本でいつも目にする小さな山も、こういうふうに立っていると、きっと大きく見えるのだらうと思いました。マウンガヌイ山を登りながら、海を見ました。この山は私の住んでいる町、タウランガではとても人気のあるところらしく、たくさんの人が散歩したりジョギングしたりしています。なかにはベビーカーを押しながら走っている人もいます。眺めは最高だし空気も澄んでいるので、散歩やジョギングには最適な場所だと思いました。しばらく山を歩いていると、岩の上に 2 頭のアザラシを見つけました。野生のアザラシを見たのは初めてなので、とても驚きました。本当に自然が豊かなのだと思いました。アザラシは親子で、可愛かったです。

1 週間経ってから始まった学校生活は、毎日新鮮ですが、慣れなくて大変なことも多いです。でも、留学生の友達ができ、留学生も先生も分からないことは優しく教えてくれます。2 週間経ち、まだまだ慣れなかったり不安になったりすることはたくさんありますが、今ここにいられる日々を少しずつ楽しんでいきたいです。

(2017/7/30 受信)